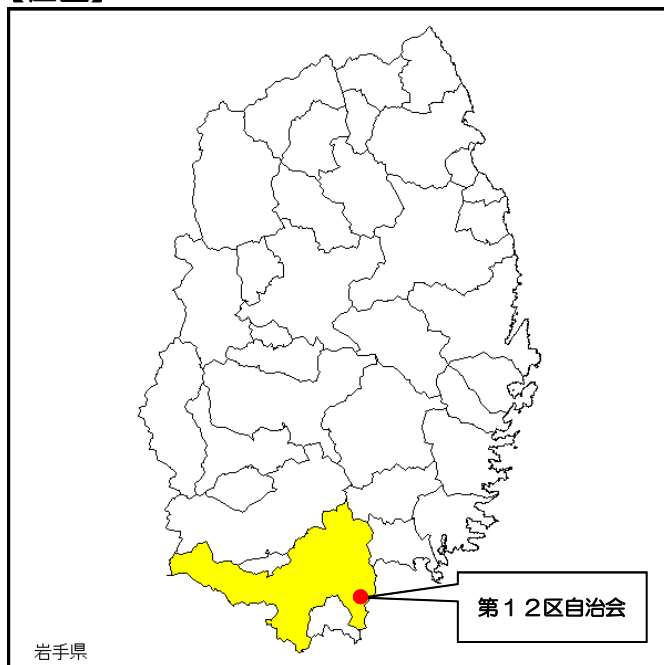


# 平成21年度農林水産大臣賞

## 『第12区自治会』(岩手県一関市)

### 【位置】



### 【むらづくりの経緯・動機等】

○第12区自治会は、一関市の東端の室根町大川沿いにある水稲を中心に葉たばこと畜産を組み合わせた複合農業経営の地帯である。○本地域は、「特色あるむらづくり事業（旧国土庁）」の指定を契機に、地域づくりに伴う社会教育活動などを住民自ら行うことを目的として、昭和57年に自治会を結成し、住民総参加によりむらづくり活動等を実施している。

### 【推進体制】

○自治会は、92戸で構成され、住民総参加の住民自治により交流活動実践を進めている。○下部組織として、「水車村」「ひこばえの森分収林組合」が設置されており、平成4年には、集落の若者たちが中心となり「水車のある集落づくり構想」を策定し、今日の様々な活動へと続いている。

### 【地区の概要】

項目	内容	
規模	集落の集合体（2集落）	
性格	地縁的な集団	
農家率 (内訳)	農家率	90 %
	総世帯数	92 戸
	農家数	83 戸
販売農家数 (内訳)	販売農家数	80 戸
	専業農家	7 戸
	I種農家	10 戸
	II種農家	63 戸
主要作物 (作付面積)	水稲	13 ha
	葉たばこ	5 ha
	豆類	0.6 ha



### 【生産面への寄与状況】

○農業生産面では、自治会が中心となり担い手農家と連携，農作業の分担や共同化の取組など，生産コスト軽減のため集落全体で営農を支援している。○また，アイガモ農法に先駆的に取り組み，地区内の「アイガモ米」が消費者から好評を得ている。

### 【生活・環境整備面への寄与状況】

○生活・環境整備面では，水車小屋の復元，「水車まつり」「こっとんこ市」の開催，宮城県気仙沼市唐桑町の「牡蠣の森を慕う会」と連携し，広葉樹の植樹に取り組み，森－川－海とつながる生態系保全に貢献しているとともに，学校授業（森林機能）の学習場や体験型教育旅行場（植樹体験）として，都市部の小中学生の受入れを行っている。○また，地域特産の矢越かぶ（岩



手に残したい食材30に選定）を復元し，加工品として商品化や次世代への味の継承に取り組むなど，地域全体で活性化活動に取り組んでいる。